

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(栄養機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30時間のうち 17時間
担当教員	水上 祐治	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】授業概要

疾病により心身機能が障害されると、様々な症状を引きおこし生活に影響を及ぼす。各病状の特徴や治療法について理解し、看護実践における観察や治療法について理解し、看護実践における観察や判断の根拠とする。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲでは消化・吸収・排泄と腎臓・泌尿性・生殖の機能障害によって起こる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 消化器の解剖生理を理解する。
2. 消化器疾患の病態を理解する。
3. 代表的な消化器領域で行われる検査、処置について理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☐ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	ガイダンス	講義
2	消化器の解剖生理	講義
3	食道疾患	講義
4	腸疾患(1)	講義
5	腸疾患(2)	講義
6	肝疾患	講義
7	膵臓疾患	講義
8	試験・まとめ	

【5】評価方法

試験と、授業・学習への取り組み方による総合評価

【6】教科書

系統看護学講座 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 2020年 第15版

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

消化器の解剖・生理を理解し、代表的な消化器疾患の成因・病態を学習する。また、消化器領域で行われる検査、処置、内視鏡治療についても学習する。

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(排泄機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30時間のうち 13時間
担当教員	吉岡 進	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (医師) ☐ 無	

【1】授業概要

疾病により心身機能が障害されると、様々な症状を引きおこし生活に影響を及ぼす。各病状の特徴や治療法について理解し、看護実践における観察や治療法について理解し、看護実践における観察や判断の根拠とする。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲでは消化・吸収・排泄と腎臓・泌尿性・生殖の機能障害によって起こる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 腎臓および泌尿生殖器の構造と機能を理解する。
2. 症状とそれに対する検査・治療を理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☐ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	腎・泌尿器の構造と機能	講義
2	症状とその病態と生理	講義
3	検査と治療・処置①	講義
4	検査と治療・処置②	講義
5	疾患の理解①	講義
6	疾患の理解②	講義
7	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験と、授業・学習への取り組みによる総合評価

【6】教科書

系統看護学講座 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 2020年 15版

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

腎臓の解剖と機能、泌尿生殖器の解剖と機能を理解し、さらにそこに生じる障害と症状、それに対する検査、治療について理解する。